

TRITON

MUSIC WORKSTATION/SAMPLER

System Version 2.1

Update Guide アップデート・ガイド

TRITON
MUSIC WORKSTATION/SAMPLER
TRITON pro
MUSIC WORKSTATION/SAMPLER
TRITON proX
MUSIC WORKSTATION/SAMPLER

KORG

Version 2.1の新機能

TRITON System Version 2.1では、Samplingモードで録音やエディットしたサンプル・データを、AIFFまたはWAVEフォーマットのサンプル・ファイルとしてエクスポート(書き出し)する機能が追加されました。

また、WAVEファイルのロード時、ループ情報の読み込みに対応しました。

システムのインストールについて

TRITON Version 2.1システム・ファイルをインストールすることによって、TRITONをSystem Version 2.1にアップ・デートすることができます。

Version 2.1.0未満のシステムをご使用の場合は、「SYSTEM BOOT DISK for TRITON Version 2.1」システム・ファイル(2HD MS-DOSフォーマットのフロッピー・ディスク3枚)をTRITONにインストールしてください。

* システム・ソフトウェア・バージョンは電源オン時のLCD画面右下に表示されます。

対応機種は、TRITON、TRITON pro、TRITON proXの鍵盤モデルのみです。

インストール方法は、「TRITON System Version 2.0 Update Guide」の2ページを参照してください。

「SYSTEM BOOT DISK for TRITON Version 2.1」システム・ファイルの入手方法についてはコルグ・インフォメーションにお問い合わせください。なお、コルグWebページ(<http://www.korg.co.jp>)からもダウンロードすることができます。

Disk 0-2: Save

New!! Page Menu Command (追加: PG P.139, 0-2)

PG「Parameter Guide」0-2: Page Menu Command (PG P.139)の図に以下のコマンドを追加します。

- 0-2: Export Smpl as AIF/WAV



New!! サンプル・データをAIFF/WAVEファイルとしてエクスポート(書き出し)する (追加: PG P.142)

PG「Parameter Guide」0-2: Save (PG P.142)に以下の内容を追加します。

0-2: Export Smpl as AIF/WAV (Export Samples as AIFF/WAVE)

Samplingモードで録音やエディットした、またDiskモードでロードした、内部サンプリングRAMメモリ上のサンプル・データを、AIFFまたはWAVEフォーマットのサンプル・ファイルとしてメディアにエクスポート(書き出し)します。

カレント・ディレクトリがDOSディレクトリのときのみ有効です。

note 通常、サンプル・データの保存は、Save AllやSave Sampling DataでのKORGフォーマット(.KSC, .KMP, .KSF)でセーブすることをおすすめします。内部サンプリングRAMメモリ上にあるマルチサンプル、およびマルチサンプルで使用しているサンプル等の状態を管理してセーブすることができます。

コンピュータ等のAIFF、WAVEフォーマット対応アプリケーションで、TRITONでサンプリングやエディットしたサンプルを使用する場合に「Export Smpl as AIF/WAV」を使用します。

「Export Smpl as AIF/WAV」では、マルチサンプル・ファイルはエクスポートされません。エクスポートされたAIFF、WAVEフォーマット・サンプルは、再度ロードすることができますが、セーブ時のサンプル・ナンバーとロード時のサンプル・ナンバーが異なる場合、マルチサンプル各インデックスでのサンプルの選択等の再設定が必要になる場合があります。

また、「Export Smpl as AIF/WAV」では、Samplingモードで設定した以下のパラメーター情報が失われます。

- サンプル・ネーム
- ループ・チューン(Sampling 2-1c, "Loop Tune")
- リバース(Sampling 2-1c, "Reverse")

TRITON上でステレオ扱いとなっているサンプルは、L/R独立した2つのファイルとしてエクスポートされます。

ページ・メニュー・コマンド「Export Smpl as AIF/WAV」を選び、ダイアログを表示します。



“Format”でエクスポートするファイル・フォーマットをAIFFまたはWAVEから選びます。

テキスト・エディット・ボタンを選びテキスト・エディット・ダイアログに移り、ファイル名を設定します(※BG P.38)。

エクスポートする内容を設定します。

All Samples: すべてのサンプルをエクスポートします。

ファイル名は設定できません。サンプルの16文字の名前の先頭4文字(大文字)+サンプル・ナンバーがファイル名として自動的に付けられます。

[例]

```
0000: NewSample_0000 NEWS0000.AIF
0001: C#3-EGuitar C#3-0001.WAV
```

Samples in One MS: 選択したマルチサンプルで使用しているすべてのサンプルをエクスポートします。


ファイル名は、5文字のみ設定可能です。ファイル名5文字+マルチサンプルでのインデックス・ナンバー(001~128)が自動的に設定されます。

ファイル名の初期状態は、MS+マルチサンプル・ナンバー(000~999)が自動的にセットされます。


[例]

```
000: NewMS_____000:
インデックス001で選択されたサンプル MS000001.AIF
インデックス002で選択されたサンプル MS000002.AIF

001: 108bpmDrLoop00:
インデックス001で選択されたサンプル MS001001.AIF
インデックス002で選択されたサンプル MS001002.AIF
```

 All Samples、Samples in One MSでのエクスポート時に、1枚のフロッピー・ディスク等のメディアに、すべてのサンプル・データが入りきらない場合、“Select other medium”ダイアログが表示されますので、次のメディアを指定してください(※PG P.142)。ただしこのとき、1つのサンプルがメディアの容量より大きい場合はエクスポートできません。容量の大きなメディアを指定するか、“Skip”を押してそのサンプルのエクスポートをやめ、次のサンプルをエクスポートしてください。

One Sample: 選択した1つのサンプルをエクスポートします。ファイル名は、.AIFまたは.WAVファイルのファイル名となります。ファイル名の初期状態は、サンプルの16文字の名前の先頭4文字(大文字)+サンプル・ナンバーが自動的にセットされます。

 One Sampleでのエクスポート時に、エクスポートするサンプル・データが、1枚のフロッピー・ディスク等のメディアに入りきらない場合は、エクスポートできません。

エクスポートするときはOKボタンを、エクスポートしないときはCancelボタンを押します。

Diskモード資料

PG「Parameter Guide」(※PG P.226)に以下の内容を追加します。

対応チャンクについて

WAVE ファイル

TRITONでは、ロード時にフォーマット・チャンク(Format Chunk)、サンプル・チャンク(Sample Chunk)、およびウェーブ・データ(Wave Data)を参照します。以下に制限事項に関して述べます。

Format Chunk

(※PG P.226)

Sample Chunk

ループ情報のみを参照します。ループ情報が複数存在する場合は、ループ再生回数(PlayCount)が最大であるループを採用します。タイプ(Type)がAlternatingやBackwordの場合もForward Loopとして扱います。

Wave Data

(※PG P.226)

エクスポート時

AIFF ファイル

TRITONでは、エクスポート時にコモン・チャンク(Common Chunk)、サウンド・データ・チャンク(Sound Data Chunk)、マーカー・チャンク(Marker Chunk)、およびインストゥルメント・チャンク(Instrument Chunk)を使用します。

以下に、それぞれのチャンク内パラメーターの制限事項に関して示します。

Common Chunk

チャンネル数は1(モノ)に固定です。
サンプル・サイズは16ビットに固定です。

Marker Chunk

2つのマーカーを、それぞれループ・スタート・アドレス、エンド・アドレスとして使用します。

Instrument Chunk

ループ・プレイ・モードはForwardLoopingに固定です。
マルチサンプルが持っているZone情報はエクスポートされません。

WAVE ファイル

TRITONでは、エクスポート時にフォーマット・チャンク(Format Chunk)、サンプル・チャンク(Sample Chunk)、およびウェーブ・データ(Wave Data)を使用します。以下に制限事項に関して述べます。

Format Chunk

フォーマット・カテゴリは標準PCMフォーマットに固定です。
チャンネル数は1(モノ)に固定です。
サンプル・サイズは16ビットに固定です。

Sample Chunk

タイプ(Type)はForward Loopに固定です。
マルチサンプルが持っているZone情報はエクスポートされません。